

科目名		情報処理II (Information Processing II)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第2学年	物質工学科	履修	1単位	—	演習	後期 90分/週	30時間		
担当教員		【常勤】 杉本 憲司							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	1)コンピュータの基本的な操作を行うことができる。 2)ワープロソフトの機能を理解し、十分に使うことができる。 3)表計算ソフトの機能を理解し、十分に使うことができる。 4)コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を理解し活用できる。								
学習・教育目標	(B)	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	情報処理 I								
教科書	「情報リテラシーの基礎」 切田節子著 (近代科学社)								
補助教材等									
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50		50					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】		◎		◎					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】		○		○					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【主体性、自己管理能力】				○					
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
情報処理の基本を習得する。情報処理 I に続いてワープロの応用、表計算の基本および応用を身近な題材を用いた実習を中心にして説明する。パソコンのハードウェアの基本について簡単な仕組みとOSについて説明する。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	0.ガイダンス 1.パソコン操作	・学習の意義, 授業の進め方, 評価方法を理解できる。 ・パソコンの基本的な操作ができる。	
2	2.ワープロ操作	・ワープロソフトによってレポートの作成ができる。	(予習) 教科書87ページ～166 ページまで読んでくること。
3	3.表計算ソフトのデータ入力	・表計算ソフトの基本的な機能が理解できる。 ・表計算ソフトへデータ入力ができる。	(予習) 教科書167ページ～172 ページまで読んでくること。
4	4.表計算ソフトの書式設定	・表計算ソフトの書式設定ができる。	(予習) 教科書167ページ～172 ページまで読んでくること。
5	5.表計算ソフトによる関数計算	・表計算ソフトで四則算ができる。 ・表計算ソフトで統計解析に関する関数計算ができる。	(予習) 教科書178ページ～183 ページまで読んでくること。
6			
7	6.表計算ソフトによるグラフ作成	・表計算ソフトで複数種類のグラフが作成することができる。 ・表計算ソフトで作成したグラフの書式設定ができる。	(予習) 教科書204ページ～214 ページまで読んでくること。
8			
9	7.表計算ソフトを用いた実験データ整理	・表計算ソフトを用いて実験データの整理及びグラフ作成をすることができる。	
10	8.表計算ソフトを用いたデータベース	・データベースについて基本的な内容が理解できる。 ・表計算ソフトでデータの並べ替え、データの抽出及びピボットテーブルができる。	(予習) 教科書226ページ～243 ページまで読んでくること。
11			
12	9.コンピュータのハードウェア	コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を理解し活用できる。	
13			
14	10.総合演習	・全体的な捕捉説明を行う。	
学年末試験			
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総授業時間数			30 時間